

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	中級ダイビング実習	
科目基礎情報					
開設学科	スポーツ健康学科	コース名	スポーツビジネスコース	開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	30時間
単位数	1単位	授業形態	実習		
教科書/教材	ダイブマニュアルⅠ、Ⅱ / A.O.W用サブマニュアル				
担当教員情報					
担当教員	平川大輔		実務経験の有無・職種	有・ダイビングインストラクター	
学習目的					
初級ダイビング実習がスクーバダイビングの基本技術を習得するコースに対し、中級ダイビング実習はダイビング技術の応用方法を習得するコースとなります。中級ダイビング資格は、あらゆる潜水活動に対応できるようにするため、高度なダイビング専門知識と多岐にわたる潜水技術の習得を目指します。この資格を取得することにより、世界中の様々な海を潜る事ができる技術を習得します。					
到達目標					
アドバンスド・オープンウォーターダイバー（中級ランク）取得を目指す。初級レベルを確実に実施でき、水中航海術（アンダーウォーターナビゲーション）、狭視界下（ナイトダイビング）ダイビング、ボートダイビング、大深度潜水、作業潜水など多岐にわたる潜水技術を身につける。また、集団生活することにより、学生同士の連帯感や自己責任を果たすことによって人間力の向上を図り、社会人として必要な知識を習得する。					
教育方法等					
授業概要	・アドバンスド・オープンウォーターダイバーに必要な知識と技術を期間内に習得します				
注意点	・授業時数の4分の3以上出席しない者は単位を取得することができません。 ・初級ダイビング資格取得者のみ履修することができます ・ダイビング器材は乱暴に扱わず、実習中は大切に使用してください ・実習中の健康管理には十分気を付けてください				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	100%	学科試験・海洋での実技試験で評価し認定します		
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 （口頭・実技）	0%			
	平常点	0%			
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	【講義】高気圧障害・海洋学		潜水障害に対する正確な知識・予防法や、世界中の海に対応できる知識を習得します		
2回	【講義】気象学・海中生物		大気について、天候と海洋の相互関係を知る事により、海況変化を判断できる知識を習得します また安全面から習性と危険性を理解します		
3回	【講義】ダイビング事故・救急法、CPR		ダイビング事故の傾向分析とその対策、安全潜水、また人命救助に必要な知識と技術を習得します		
4回	【スキン&スクーバ】器材の取り扱い&チェック&セッティング&リセット&水洗い		ダイビング器材の取扱、チェック方法、洗い方など基礎から応用までを習得します		
5回	【スキン】エントリー&エキジット		スキンドайビングでの入水・出水法を習得します		
6回	【スキン】スノーケル呼吸&クリア		スノーケル呼吸法とクリアー法の基本技術と応用技術を習得します		
7回	【スキン】マスククリア（マスクなし呼吸、マスク投げ）		スキンドайビング装備でのマスククリアーの基本技術と応用技術を習得します		
8回	【スキン】フィンワーク①スノーケルクリア併用 ②マスクなし移動 ③片フィン併用		スキンドайビング装備での水面移動、アクシデント対処法を習得します		
9回	【スキン】立ち泳ぎ&浮力調整		スキンドайビング装備でのフィンの使い方、浮力調整技術を習得します		
10回	【スキン：深域】潜降（ヘッドファースト）／浮上、マスククリア		水深5m程度への垂直潜水法を習得します。		
11回	【スクーバ】水面移動（スキン①②③同様）		スクーバダイビング基本技術の理解を深めます。		
12回	【スクーバ】水中動作 ①潜降浮上 ②避泳姿勢&フィンワーク ③中性浮力		スクーバダイビング基本技術の理解を深めます。		
13回	【スクーバ】コンパスナビゲーション、サーチ&リカバリー		コンパスを使用し水中での進路確保と自分の位置を把握、また正確に使いこなす技術を習得します		
14回	【スクーバ】ディープダイビング、ナイトダイビング		大深度潜水の人体への影響を理解し、安全にダイビングをするための技術を習得します		
15回	【レスキュー】スキンレスキュー		沖合で溺れている人の救助方法を習得します		